『災害と展示の研究会』 研究フォーラム

『レアリティと災害イメージ』

◎日程: 2014/10/28 18:30~20:30

◎ゲスト・スピーカー:佐治 靖(おさむ)氏(福島県立博物館主任学芸員)

◎会場:せんだいメディアテーク7階会議室a

◎共催:日本ミュージアム・マネージメント学会東北支部

◎申込:参加ご希望のかたは、10月27日までに下記あてメールでお申し込みください。申込先/佐藤泰(JMMA東北支部) yas¬s@smt.city.sendai.jp

< 『災害と展示の研究会』概要>

○趣旨

東日本大震災を契機に被災地域のミュージアム関係者は「大規模災害について、ミュージアムは何をどのように 伝えるべきか」という職業的課題を共有することとなった。本研究会は、この課題意識をふまえて、災害体験の語 りや映像記録の公開、被災した文化財・生活財の展観、震災遺構の活用やメモリアル施設の造営など、"災害 の表象"を市民の利用に供する多様な営みを「(災害)展示」という観点から横断的に捉え、地域や市民にとって 有意義な災害伝承のあり方について調査・研究を行うことを目的とする。

○活動

- ・災害と展示に関する情報・資料の収集
- ・メンバーの勉強会、研究発表会等の開催
- ・講演会、セミナー、ワークショップ等の開催
- ・災害に関する「展示」関連事業への提言
- 関係諸団体との連携
- ・研究成果の公表・発信

○メンバー(2014年10月現在)

伊藤 匡 福島県立美術館

甲斐賢治 せんだいメディアテーク

佐藤 琴 山形大学

佐藤 泰 仙台市教育委員会生涯学習課(研究会代表)

新田秀樹 宮城教育大学

三上満良 宮城県美術館

渡邊祐子 東北大学大学院教育学研究科博士課程